

# 浦和フィルハーモニー 管弦楽団

## 第74回 定期演奏会 浦和の第九 2025

2025年5月3日(土・祝) 昼公演

さいたま市文化センター大ホール

指揮 佐藤寿一 (当団音楽監督)

合唱 合唱浦和の会

独唱 西本真子 (Sop) 牧野真由美 (MS)

村上公太 (Ten) 原田圭 (Bar)

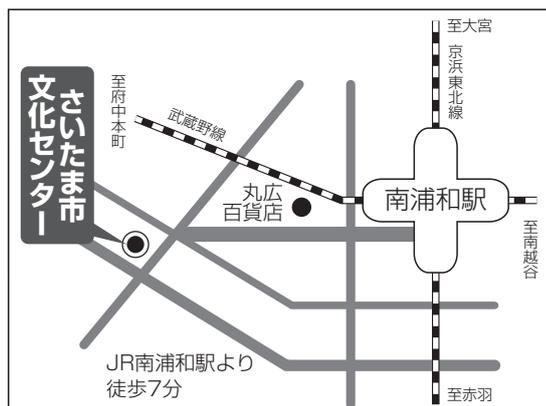
### ベートーヴェン 交響曲第9番

ほか

全席自由 1,500円 (前売り1,000円)

2025年2月チケット販売開始予定

\*写真は当団フルート奏者  
庄子聡の使用楽器です。



〈お問い合わせ〉

浦和フィルホームページ

<https://www.urawaphil.com/>

浦和フィル事務局 庄子 (しょうじ) 070-5452-4754



## 指揮 ● 佐藤 寿一 (当団音楽監督)

仙台市生まれ。埼玉大学教養学部卒業。はじめ哲学コースで音楽美学を専攻するが、のちに指揮に転向。指揮を小松一彦、高階正光、前田幸市郎の各氏に師事。これまでに山形交響楽団、仙台フィルハーモニー管弦楽団、千葉交響楽団、東京都交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、サヴァリア交響楽団（ハンガリー）、カンナム交響楽団（韓国）、国立台湾交響楽団青年部などを指揮。1998年から2004年まで山形交響楽団指揮者。また、オペラの分野では東京室内楽歌劇場その他オペラの副指揮・指揮や文化庁主催・歌座『うたよみざる』公演の指揮兼打楽器を務めた他、モーツァルト作曲『フィガロの結婚』、フンパーディンク作曲『ヘンゼルとグレーテル』、林光作曲『あまんじゃくとうりこひめ』では指揮とともに演出も担当し好評を博す。2013年5月には、ニューヨーク・カーネギーホールで『第九』その他を指揮し、現地の合唱団・オーケストラと日本から参加した障がい者を含む合唱団とが一体となった演奏は、満席の聴衆からの熱狂的なスタンディングオベーションという大きな成功をおさめた。

浦和フィルハーモニー管弦楽団においては1986年の創立以来、音楽監督としてともに活動を展開しており、2001年から2005年にかけて行われた「彩の国シューベルト・シリーズ」（シューベルトの交響曲全曲演奏プロジェクト／埼玉県芸術文化振興財団＝諸井誠芸術総監督（当時）＝制作）の指揮、2006年の浦和フィル創立20周年記念公演『カルメン』の指揮・台本・演出などが好評を得ている。またスクリャービン作曲『交響曲第一番《芸術賛歌》』を取り上げるなど世界的に演奏頻度の低い曲にも力を入れ、浦和フィル×佐藤寿一による歴史に埋もれた曲の発掘を〈セリエ“S”〉としてシリーズ化し、音楽史に新たな光を当てている。



## ソプラノ ● 西本 真子

武蔵野音楽大学首席卒業、同大学大学院首席修了。これまで50を越える数多くのオペラで主要な役柄を演じ、情熱的な歌唱と美しい舞台姿で人気を博す。またベートーヴェン『第九』モーツァルト『レクイエム』ハイドン『ネルソンミサ』メンデルスゾーン『ラウダ・シオン』ヴェルディ『レクイエム』等のソリストも務め、いずれも

好評を得る。国外でもフィリピン国立劇場『蝶々夫人』シンガポールリリックオペラ『蝶々夫人』中国貴陽市交響楽団演奏会、ウィーン楽友協会「国境なき合唱団特別演奏会」等、势力的に活躍している。藤原歌劇団団員日本オペラ協会会員、練馬区演奏家協会会員。



## メゾソプラノ ● 牧野 真由美

東京芸術大学卒業。同大学院修了。第3回藤沢オペラコンクール奨励賞、第30回イタリア声楽コンクール金賞受賞。ベートーヴェン『第九』ヘンデル『メサイア』ヴェルディ『レクイエム』などのソリストとして多くのコンサートに出演。小澤征爾指揮サイトウキネンフェスティバル松本「ふれあいコンサート千人の合唱」に出演し『カルメン』を歌唱。またオペラでは多数の公演に出演し好評を博している。

浦和フィル定期演奏会には第41回（『カルメン』抜粋）と第50回（ベートーヴェン『第九』）に出演。藤原歌劇団団員。昭和音楽大学非常勤講師。



## テノール ● 村上 公太

東京音楽大学声楽演奏家コースを卒業後、新国立劇場オペラ研修所第6期を修了。文化庁在外派遣研修員としてイタリア・ボローニャに留学し、さらなる研鑽を積む。ジュゼッペ・ディ・ステファノ国際コンクールにおいて『リゴレット』のマントヴァ公爵役を獲得し出演。国内では主に新国立劇場、日生劇場、東京二期会オペラ劇場にて

数々のオペラに出演し、多彩な役柄をこなしている。海外ではシンガポール・リリック・オペラに連続出演し高い評価を得た。2023年NHK交響楽団『第九』に出演。ミサやレクイエムなどの宗教曲のソリストとしても活躍中。二期会会員。



## バリトン ● 原田 圭

東京芸術大学卒業。同大学院博士後期課程修了。博士号（音楽）取得。在学中に安宅賞受賞。『藝大メサイア』公演ソリストとしてデビュー。東京文化会館新進音楽家オーディション合格。デビューコンサートに出演。第16回奏楽堂日本歌曲コンクール第1位、中田喜直賞受賞。第77回日本音楽コンクール入選。多数のオペラをはじめ、

バッハ『マタイ受難曲』、ベートーヴェン『第九』等のソリストとして多数出演。ウィーンにてリサイタルを開催。プラハ国立歌劇場管弦楽団とソリストとして共演。千葉大学教育学部音楽科、日本大学芸術学部講師。二期会会員。

## 合唱 ● さいたま市合唱浦和の会

1964年に旧浦和市の周辺で活動する多くの合唱団の結集で「合唱浦和の会」として発足。2001年に浦和市、大宮市、与野市が、更に2005年に岩槻市も合併してさいたま市となったことで「さいたま市合唱浦和の会」と名称を変更。今年（今年度）で創立60周年を迎えた。①合唱音楽の普及を図り、郷土の文化向上に資する、②会員の育成、相互の連絡ならびに親睦を図る——ことを目的としている。毎年1回4月頃に「春の合唱祭」を市内のホールにて開催、他に、講習会として加盟団体の音楽の向上を図っている。これまでにフォーレ『レクイエム』、ヘンデル『メサイア』、ヴェルディ『メサイア』などを演奏。また『浦和市民オペラ』に協力して『カルメン』『道化師』『蝶々夫人』などに出演。現在、33団体が加盟。各団は公民館等の活動場所で活動している。